

蔵元 「まち・ひと・しごと創生法」が成立した。創生法は平成27年度から5年間の人口減少対策の取り組み方針「総合戦略」の策定を明記し、都道府県と市町村には各地の実情に応じた地方版総合戦略をつくる努力義務を課す。政府は平成28年3月



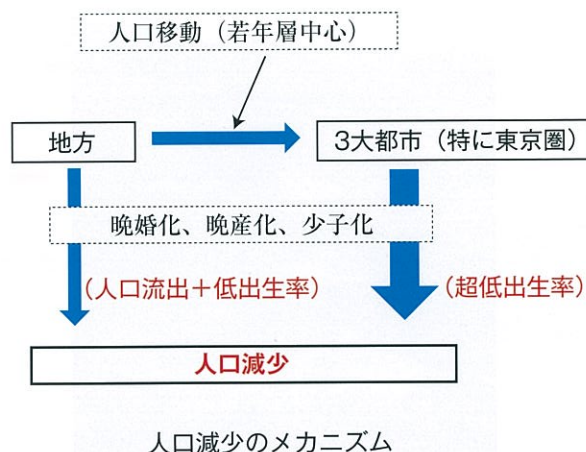
蔵元 慎一 議員

地方創生

地方創生法への対策は

市長／国、県の計画を勘案し検討する

○大都市への「若者流入」が人口減少に拍車をかけた。



までに各自自治体に地方版総合戦略の作成を求める。今後どのように対応していく考えか。

市長 この法律は、日本の急速な少子高齢化に対応し、人口減少に歯止めをかけ、東京への一極集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくための施策である。

本市でも少子高齢化や若者の流出などにより人口減少に歯止めがかからない状況であり、今後国、県の計画を勘案しながら、まち・ひと・しごと創生総合戦略を検討していきたい。

蓮子 平成29年4月より、額娃ごみ処理施設が廃止され、山川地区成川までの搬入となる。

距離が遠くなり地域住民の負担が重くなるが、負担軽減の観点からストックヤード等を整備する考えはないか。

市長 額娃ごみ処理施設の廃止を契機に、既存のごみステーションに積極的に搬出され、持ち込みごみの量が減少することを期待する。施設は中継施設、市営ごみステーションが考えられ、地域住民の意向を踏まえ検討する。



ごみステーション

蓮子 伝統的建造物群保存地区内に景観にそぐわない建物がみられるが、

市長 伝統的建造物群保存地区の景観保全に努めていきたい。

ごみ処理施設

ストックヤード等を整備する考えは市長／地域住民の意向を踏まえ検討する

市長 伝統的建造物群保存地区の景観保全に努めていきたい。

観光や文化財保護の面から適正管理が求められる。伝統的建造物群保存地区保存条例の内容を見直す考えはないか。

市長 条例は国の指導に基づいて制定してある。保存地区保存審議会の意見や協議等をもとに必要があれば現状変更の許可基準を見直し、結果を地区住民に周知して啓発を図り、さらに伝統的建造物群保存地区の景観保全に努めていきたい。

市民の声を行政に問う

一般質問

14人が登壇

議会会議録はここで見れます

- ◎校区・地区公民館
- ◎市立図書館
- ◎ホームページ(南九州市)



吉永 賢三 議員

商工観光

地域イベント定義や基準等の内容は市長／一定の基準を設け見直しを図っている

行委員会とえいゴッソイ祭り実行委員会に対して実施した。

今後、すべての実行委員会事務局、構成団体等にも説明を行っていく。

吉永 基本指針と基準額の制定にあたり要綱等も作成すると思うが、柔軟な対応が望まれるため、その都度検討見直しをする考えはないか。

商工観光課長 各団体からの意見等について協議し、要綱等の内容についても柔軟な対応ができるように検討していきたい。

吉永 地域イベント等の定義や補助金額に明確な基準を設けるため説明会を行っているが、状況と基準内容を示せ。

市長 合併当初の補助金額、事務局体制を踏襲し、内容や運営形態もほぼ同様に推移してきた。平成27年度から普通交付税が合併算定移行期間となり減額されることから、補助金に關しても一定の基準を設け、事業費の3分の1を上限に交付することを基本方針とする。

説明会については、大まかな流れや概要を話しており、商工会イベント実



かわなべ磨崖仏まつり（玉入れ合戦）

入会林野

取り組み状況と 推進方策は

市長／整備組合へ必要な支援を
行う



竹迫 毅 議員

また、今後市道や農道整備等の公共事業や企業誘致等を考えると、入会林野整備事業で整備可能なものは取り組むべきと思うが、その考えはないか。

竹迫 入会林野整備事業の取り組み状況と今後の推進方策を示せ。

市長 本市では、旧町より取り組んできたものを含め、額娃町で9組合9554筆、知覧町で9組合1149筆、現在申請準備中が額娃1組合、知覧1組合、川辺9組合あり、整備組合への必要な支援を行っている。

竹迫 市民より農道整備に当たり、名義変更が困難で入会林野整備で取り組めないかとの声もあった。市民に対して事業内容の周知をすべきではないか。

市長 市民への周知は行う。また、他の市で県より権限委譲を受ける団体もあり、本市でも取り組みたい。

入会林野整備 のすすめ



監修 林野庁

今後の方向性と方策は

市長／総合計画に掲げてある諸
施策を推進する

農業振興



塗木 弘幸 議員

塗木 農畜産物の価格が低迷する中、農業者の高齢化や担い手不足により農業経営は厳しい状況にあるが、今後の農業振興の方向性と方策を示せ。

市長 認定農業者の経営改善や集落営農組織の法人化、意欲ある経営体等の支援を行う。農地中間



補助事業で導入されたトラクター

管理機構を活用し、「人・農地プラン」に位置付けられた中心的経営体等に農地の集積・集約化を促進する。各種補助事業導入に対しては、国・県に強く要望し、農業所得の安定向上に努める。

塗木 国の政策は大規模農家や農業法人を優先する施策が多いが、家族経営の個人農家への支援を行うことにより、担い手の確保にも繋がるのではないかと。

その他の質問

○ヤンバルトサカヤスデの蔓延防止対策

グリーンツーリズムの 受入体制の整備は

農業体験

市長／関係団体と連携し側面から支援



山下 つきみ 議員

山下 受入体制整備のための人材育成や、農家民宿の開業支援などに取り組む考えはないか。

県の事業等を活用したい。農家民宿経営支援のため、ホームページのバナー広告等を活用した情報提供など側面からの支援に努めたい。

山下 受け入れ先が引率し、公的有料施設を利用した場合の負担軽減は考えられないか。

市長 本事業は、民間の努力により実施され、地域活性化に繋がっていることから、受入家庭の金銭的負担が重くなることは好ましくなく、先進地のいい例を参考にしながら積極的に検討していきたい。



グリーンツーリズムによる稲刈体験

愛護作業時の 事故対応は

市長／総合賠償保険等で対応

市道管理



加治佐 民生 議員

加治佐 市道の道路愛護作業を自治会等で実施しているが、高齢化や人口減少により作業が困難な自治会も見られる。現状及び作業中の事故への対応並びに市が行っている草刈り作業の状況を示せ。

市長 道路愛護作業につ



モアによる除草作業

いては、作業困難な自治会が一部見受けられるが、現在のところ、各自治会において愛護作業への理解、協力をいただき道路の環境が保たれている。

また、作業中の人身事故は本年3件発生しているが、全国町村会総合賠償保障保険等で対応していきたいと考えている。

市が行っている草刈り作業の状況は、各支所の道路維持班により1019キロメートルの作業を行っている。

加治佐 現在1台所有しているトラクター型草刈機をもう1台導入する考えはないか。

市長 検討したい。

また、協議会においても、情報提供や講習会・講演会などを開催し、受入家庭の資質向上に努めている。今後、受入家庭の高齢化などによる減少が予想されるため、JA・商工関係者等との連携も必要だと考えている。

開業支援については、

ごみ処理施設

中間施設設置の考えは

市長／颯娃地域の住民の意向に
そえるよう検討する



今吉 賢二 議員

する方々の負担軽減のため、何らかの施設の検討は必要である。今後、颯娃地域の住民の意向にそえるよう検討する。

今吉 颯娃ごみ処理施設の老朽化に伴い指宿市に新施設が建設されるが、颯娃地域住民にとっては、ごみ処理業者や業者を利用する住民、また直接搬入する住民にとっては費用負担の増加や運搬時間の増などが予想され、地域住民へのごみ処理サービスの低下が危惧される。颯娃地域住民の利便性を考慮し、中間施設（ストックヤード）を設置する考えはないか。
市長 自治会に設置している既存のごみステーションを利用してほしい。しかしながら、直接搬入



颯娃ごみ処理施設

ヤスデの薬剤散布による環境への影響は

市長／影響の無いことが確認されている

今吉 薬剤散布による自然環境への影響は無い

市長 県による水質検査では、環境生物に対して影響の無いことが確認されている。今後も、水系、農地等を含む自然環境へ影響が及ばないよう適性に薬剤を使用するよう指導していく。

脱ゆとり教育の対策は

教育長／土曜授業を実施できる体制づくりを進める

学校教育



深町 幸子 議員

深町 10月19日付けの南日本新聞によると、鹿児島県教育委員会は、県内すべての公立小中学校での土曜授業実施に向けて関係団体と調整に入っている。
実施は学校を設置する市町村教委の判断になる

低年金高齢者の福祉対策は

市長／地域包括ケアシステムの構築に努める

深町 低年金高齢者の福祉対策として、空き家を



授業のようす

ずに土曜授業の準備を進めている自治体もあるが、見解を問う。
教育長 豊かな教育環境を提供し、子どもたちの成長を支えることができるよう各学校が土曜授業を実施できる体制づくりを進める。

利用し、4～5人で共同で生活するグループホーム的なものを創設し補助する考えはないか。
市長 市としては、共同生活の住まいの創設・補助についての取組みは検討していない。地域の絆を強め、高齢者ができる限り住み慣れた地域で自立し、社会参画しながら、かつ尊厳をもって、安心して暮らしている地域社会の実現に向けた「地域包括ケアシステム」の構築に努める。

樹木管理

公園や学校の樹木管理は

市長／適切な対処・対応を図っていききたい



亀甲 俊博 議員

亀甲 公園や学校等の樹木の現状と、今後の管理方針に対する見解を示せ。
市長 都市計画課で41公園の管理を行っている。

管理方法は業者委託がほとんどで、樹木等全体の監視を行いながら、樹木剪定、防除、施肥等を実施している。
教育長 樹木等は、児童生徒に与える教育的な影響も大きいことから適切な対処、対応を図っていききたい。

亀甲 旧颯娃町には、花と緑の美しい町づくり条例があり、保存樹を指定して後世につなぐように

また、川辺小学校のケヤキについては、文化的価値があるとのこと。治療をして天然記念物として指定するよう提言する。
その他の質問
○川辺仏壇の振興
○農山漁村グリーンツーリズムの推進
○監査意見書

子育て世代の支援強化の考えは

市長／県内の状況や市民の声を勘案して検討したい

人口対策



西 次雄 議員

西 本市では、総合プロジェクトで、移住定住促進対策や子育て支援対策の強化を図っているが、人口減少が続いている。そこで、子育て世代の保育料の更なる低減や高校生までの医療費助成、移



ふれあいセンターわくわく川辺

住定住に対する支援強化の考えは。
市長 保育料については、国の基準以下に設定している。

出産祝い金は第2子に5万円、第3子に10万円支給しているが、今後県内の状況や市民の声を勘案しながら検討したい。

指定管理者への対応は
市長／その都度速やかに対処するよう指示

西 ふれあいセンターわ

くわく川辺は、市民の健康と憩いの場所として利用されているが、電気風呂が故障し修理が進まず、さらに浴室内の照明は数箇所切れたままで、管理上の苦情を聞くが、指定管理者への対応を問う。
市長 11月2日に故障したが、電気風呂は大浴場と一体のため、11月26日の定休日に修理し復旧した。照明等についてはその都度速やかに対処するよう指示している。



治療中の古木（神楽小学校）

不快害虫

対策委員会設置の 考えは

市長／有効な対策が見出された
とき検討



東 兼喜 議員

東 今後ますます蔓延が
予想されるが、対策委員
会の設置の考えはないか。
市長 有効な対策が見出
され、必要と判断された
場合に検討したい。

発掘調査について

教育長／調査報告書は
来年度に発行
の予定

東 ヤスデの発生状況と
委託による駆除等を含め
た現在の対応状況は。
市長 今年は市内全域で
異常発生し、全体で1万
2086ヘクタールと推
定。なお、生息範囲はよ
り広範囲に及んでいるの
ではと推測される。市の
対応としては、委託によ
る駆除が10月末現在、市
全体で106地区、54ヘ
クタールを実施。
また、家屋侵入防止薬
剤の助成は、10月末現在、
申請件数1046件、薬
剤総数26985キログ
ラム、助成額849万円
となっている。



発掘調査中の金山水車跡

東 南薩縦貫道建設で市
内数箇所の発掘調査を実
施しているが、その状況
を示せ。
教育長 川辺町の高付遺
跡、知覧町の鞍曲遺跡、
牧野遺跡、金山水車跡、
知覧飛行場跡、鍛冶園遺
跡でこれまでの調査で旧
石器・縄文時代の石器や
土器、これに関連した遺
構のほか金山水車跡で金
製錬の水車坑、建物跡な
ど発掘されている。調査
報告書は、県埋蔵文化財
センター及び市で来年度
発行の予定。

観光客を対象に茶の総 合施設の整備の考えは

市長／体験型の観光施設は必要
と考える



内園 知恵子 議員

内園 本市を訪れる年間
80万人の観光客を対象と
した茶の総合施設「見る
工場」を整備する考えは
ないか。

市長 多くの交流人口の
中で、体験型の観光施設
は必要と考える。既存の
施設の活用を含めて、市
民団体並びに各関係機関

と検討協議していく。

内園 茶業振興の立場か
ら、価格補償の制度を設
ける考えはないか。

茶業課長 難しいが、県
や日本茶業中央会等に情
報を発信していきたい。

愛護作業について受任
の意向調査を実施する
考えは

市長／意向調査は実施
しない

内園 高齢化の進行によ
り、市道愛護作業を外部
委託している自治会があ
る。市道管理は市が責任
を持つべきである。受任



見学できるJA茶業センター茶工場

の意向調査を実施する考
えはないか。

市長 調査を行うと受任
しない自治会が増えると
予想され、市道の維持管
理に対する市の負担が増
える。維持管理体制や財
政状況を考慮すると、受
任の意向調査を実施する
考えはない。

内園 高齢化率の高い自
治会では「どうにかして
ほしい」という声がある。
建設部長 できる範囲内
で作業をお願いしたい。

その他の質問

○頼娃地区の中学校再編

厳しい状況に対する 今後の対応策は

市長／農地中間管理機構を活用
した農地の集積を図る

茶業振興



下窪 一輝 議員

下窪 厳しい状況が続い
ている茶業に対し、今後
の対応策をどのように
図っていく考えか。

市長 高齢者や兼業農家
を中心に茶業のリタイヤ
が散見されることから、
農地中間管理機構を活用
し農地の集積を図る。

また、市内126の茶



高台から見える広大な茶畑

工場運営の効率化と荒茶
品質の高位平準化により
経営安定に努める。

下窪 日本一の茶産地と
してどのように対処する
考えか。

市長 「知覧茶」の統一
方針に基づき仕上げ加工
施設を活用する。生産者
自らが販売活動を展開
し、消費者のニーズを的
確に捉えた製品作り等を
支援していく。

さらに、国は輸出戦略
を掲げる2020年まで
に輸出規模を150億円

としていることから、国・
県と歩調を合わせた輸出
対策に取り組んでいく。

その他の質問
○自主防災組織

追跡

あの質問・提言は どうなった?!

(平成25年6月議会)

質問者／蓮子 幹夫 議員

防犯灯を頼娃、川辺地域の通学
路にも設置する考えはないか。



設置された防犯灯

答弁者／教育長

生徒や保護者からの要望が強く、
緊急性の高い箇所から整備を進
めていきたい。

その後

※平成26年度設置

(頼娃地域)

頼娃中学校区 7基設置
別府中学校区 5基設置
青戸中学校区 6基設置

(川辺地域)

野崎地区 2基設置
松崎地区 3基設置